

# あいのて

栗生小学校  
4年学年通信 No.16  
令和4年10月4日

## 私たちにできることは何だろう…。

社会科「ごみ処理と利用」の学習では、ごみのゆくえについて調べました。調べていくうちに、オガワエコノスという会社が大きく関わっていることに気づき、「もっと詳しく知りたい!」と、出前授業をお願いすることとなりました。

当日は、リサイクルの仕組みについて話を聞いたり、実際にハードディスクを解体して、分別作業の体験をしたりすることができました。この学びを通して、自分達ができることは何なのか、総合的な学習の時間「守ろう環境」の学習で考えていきたいと思います。

今日は、オガワエコノスさんの出前授業がありました。ぼくが、びっくりしたことは3つあります。

1つ目は、捨てられたペットボトルはいろいろな作業を通して、モフモフの綿となることです。硬いペットボトルが、あんなに柔らかくなるなんて驚きました。

2つ目は、ペットボトルはリサイクルされ、またペットボトルに生まれ変わるということです。ペットボトルに生まれ変わる原型を見せてもらいましたが、あんなに小さいと思っていなかったから、びっくりしました。

3つ目は、3Rのなかで、一番大切なことはリデュースだということです。ぼくは最初、リサイクル（資源に戻して、もう一度製品を作ること）が一番大切だと思っていました。ごみを減らす工夫が大切だと分かりました。

高尾 蒼佑

今日、オガワエコノスさんによる出前授業がありました。私が心に残ったことは2つあります。

1つ目は、ペットボトルの元の形についてです。ペットボトルになる前の物を見せてもらいましたが、ワクチンが入っている容器みたいに丸くて細長いものでした。それを機械で膨らませて、みんなが使っているペットボトルにするそうです。それを聞いた時、クラスみんなは、

「ええ～!!!?」

と、とても大きい声で驚いていました。私もとても驚きました。

2つ目は、リサイクルにも問題点があるということです。ごみが増えることで、働く人や車の数が多くなります。また、車に必要なガソリンやごみを処理するための電気も多く必要になります。それらに必要な税金も増えてしまうそうです。オガワエコノスさんは、

「ごみを処理するためにお金をたくさん使うより、みんなが通っている学校にお金を使ってもらいたい。」

と、話をしてくれました。

私は、ごみのことについてたくさん知ることができたので、次は3Rのことについてもっと考えたいと思います。

白石 果歩



## お願い

図画工作科「おもしろだんボール」、「ひみつのすみか」の学習で以下の材料を使います。ご家庭にいない物がありましたら、子供達に持たせてあげてください。ご協力よろしくお願いします。

(参考：図画工作科教科書 P.28、29、36、37)

- ① 段ボール（あまり大きくない物が好ましいです。）
- ② 木の枝（30 cm以下の物）

※枝は危なくないように、新聞紙等で包んでいただけるとありがたいです。